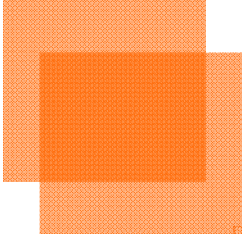


チームビルディング ファシリテーター養成講座 のご案内



“知っている”を“している”に、知識を良い習慣へ

している株式会社

目次

■アドベンチャーラーニング®のご紹介

: アドベンチャーラーニングって何？

■チームビルディング・ファシリテーター養成講座 「守(基礎)」「破(応用)」「離(発展)」のご案内

: チームビルディングを加速させるファシリテーターになる！

アドベンチャーラーニング®とは



1970年代にアメリカで開発された“冒険教育 (Project Adventure)”をベースに、“ファシリテーション”の手法と“ポジティブ心理学”の理論的裏づけを加味し、人材育成に適するようプログラミングした実用的教育手法が『アドベンチャーラーニング®』です。

★特徴(1) 体を使ったアクティビティ

座学のレクチャーを極力少なくし、体を使ったアクティビティ(グループ活動)を通じて、気づきを促します。

★特徴(2) “やり方”よりも“あり方”を！

スキルや知識を学ぶのではなく、態度や意識、取り組む姿勢など、自立意識を高める本質的なアプローチを行います。

★特徴(3) 野外研修の醍醐味を手軽に導入

“冒険教育 (Project Adventure)”の持つ楽しさを活かしながら、会議室やセミナールームなどの施設で、手軽に導入することができます。

アドベンチャーラーニング®の特徴

従来型研修の限界

知識獲得を中心としたティーチング主体の研修形式
演習課題は記憶の確認か、ケーススタディが中心
研修によって得た知識が実務で活かさない
参加者は受身であり、モチベーションの維持が難しい

意識変容:小 行動変容:小 実務適用:小



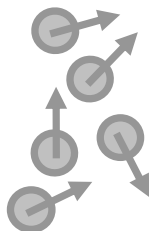
アドベンチャーラーニングの可能性

気づきの促進を中心としたファシリテーション型研修
研修の場が実務課題の解決の場となる
常に受講者が中心であり、受身では何も進まない
個人の開発とチーム力の開発が同時に進められる

意識変容:大 行動変容:大 実務適用:大
チーム力が向上!

チームの発達段階

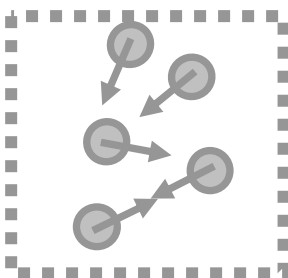
第1ステージ



Forming(形成期): チームの結成/様子見

- ・メンバーのことを十分に理解できていない。
- ・メンバーへの依存度が大きい。「誰かがどうにかするだろう」
- ・エネルギーはメンバー個人の内側へ向かう。
- ・リーダーは任命されたリーダーであり、メンバーは指示を期待する。
- ・不安や内向性、緊張感が見られる。

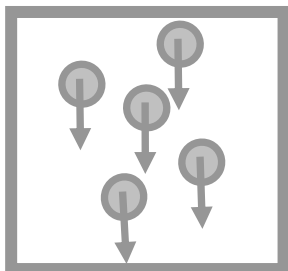
第2ステージ



Storming(混乱期): 意見のぶつかりあい/個人の主張

- ・解決に向けての意見、アイデアの表出が見られる
- ・メンバーは独立心が芽生える。「私だったらこうするのに/こうすればいいのに」
- ・エネルギーはチーム内部の競争に向けられる。力の順位、役割と機能の表出。
- ・影響力の大きいリーダーが自然発生的に現れる＝強いリーダーシップの発揮
- ・ビジョンは曖昧で、共有されていない。

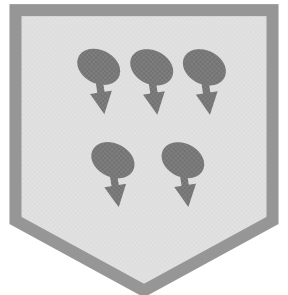
第3ステージ



Norming(標準期): 個人の役割とチームの決まりごとが明確になる

- ・メンバーとしてどのように行動すべきか気付く。
- ・チームのルール(行動規範)が暗黙のうちに築かれる。
- ・ゴール(目標)、メンバーの役割と責任範囲が明確になる。
- ・「ビジョン」「ルール」「仕組み」がチームを拘束する。
- ・「私たちのやり方」「うちのチームは」


第4ステージ



Performing(達成期): 能力の発揮と成果達成

- ・問題や課題が解決され、成功体験を共有する。
- ・メンバーは自立心が芽生えチームに対する帰属意識が高まる。
- ・リーダーシップを発揮する者がリーダーとなり、任命されたリーダーは形式化する。
- ・「ビジョン」や「制度」はメンバーの協働意思によって成立している。
- ・エネルギーは共通のゴールに向かって外に向けられる。
- ・他者視点に基づいた行動・言動が一般化し、信頼関係が構築されている。

5



**チームの発達段階にあわせて
アクティビティを実施し、
振り返りにより学びを深めます。**

アイスブレーキング／フォーミング期のアクティビティ



【アイスブレーキング】

緊張をときほぐすことがねらい。体や気持ちをほぐしていくことを目標とした活動。
ストレッチや、名前ゲームなどを実施することで自己・他者・環境へ慣れるとともに、今後の活動へのレディネスをたかめます。
その他には『名前教えて』『ネームトス』『グッドアンドニュー』『今となり先となり』『肩たたき』など多数のゲームがあります。



【ディインヒビタイザー】

「抑制をとる」が言葉の意味です。気持ちの上での抑制をゆるめることがねらい。心の壁を下げるためにリスクのある活動を行い、互いに笑いあうことによって、からだや気持ちをより深くほぐし、チームの中で個人が受け入れられような雰囲気を作り「失敗を受け入れる」基礎を醸成します。
その他には『バスガス爆発』『ZIPZAP』『スピードラビット』『サムライ』など多数のゲームがあります。

ストーミング期のアクティビティ【ヘリウムリング】



ヘリウムリング

【アクティビティの内容】

人差し指のみを使い、全員が同時に触れている状態で地面にフラフープを下ろす。途中で指が離れた場合は最初からやり直し。

【得られる気づきと学習の効果性】

- ・自分自身の意識がどこにあるか、「あり方」の状態について気付くことでチームに対してどのような行動をとることが重要かを学ぶ。その中で他者との関わりやコミュニケーションのあり方について自己認識し、チームとして成果に向かうことの重要性に気付く。
- ・人は他者から言われて動くのではなく、自身が主体性を持って課題に取り組むことに対する有能感を体験する。指示をする人、指示を受ける人の双方のバランスが、納得性の高いプロセスを生むことを実感する。

ストーミング期のアクティビティ【フープリレー】



フープリレー

【アクティビティの内容】

両隣の人と手をつないだ状態で、フープを1周回す。1周をどれくらい早く回せるか目標設定をし、制限時間内にタスクを達成することが目標。リーダーシップ・メンバーシップ・イノベーション力が求められる。

【得られる気づきと学習の効果性】

- ・複雑な課題を決められた時間内で達成するためには、思考の柔軟性と多様なアイデアが求められる。その中で自分の判断がどれだけ通用するかを自己認識しながら、自分が必要とするなら他者からの支援も得る。
- ・人は他者から言われて動くのではなく、自身が主体性を持って課題に取り組むことに対する有能感を体験する。指示をする人、指示を受ける人の双方のバランスが、納得性の高い仕事になることを実感する。

ノーミング期のアクティビティ【エブリバディアップ】



エブリバディアップ

【アクティビティの内容】

両隣の人と足（足首から先）が触れたままの状態、全員同時に立ち上がる。協働の姿勢、目標達成へのコミットメントが必要とされ、ひとりでも立ち上がれないと課題は達成されない。

【得られる気づきと学習の効果性】

- ・自分に対してメンバーが協力的な気持ちを持っていること、一緒にいて課題に取り組む意識や姿勢が課題達成と維持調整機能を醸成することを理解する。
- ・身体的、精神的なリスクが高まることで、周りのメンバーと強い信頼の絆で結ばれていることに対する確証が得られる。また相互信頼の感情がこのアクティビティに対する自己動機付けとなることを体感する。
- ・最初は到底不可能であると思っていることを、チームが本音で解決策を考え実行することで、全員の集中力が成し遂げられた充実感と喜びを体感する。

10

トランスフォーミング期のアクティビティ【ブラインドスクエア】



ブラインドスクエア


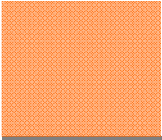
【アクティビティの内容】

全員が目隠しをした状態でロープを渡し、正方形を作る。
途中で緊急追加指示が入ることもあり、「目隠しをしている人はしゃべれる」「目隠しをしていない人はしゃべれない」など状況変化に対する対応能力が求められる

【得られる気づきと学習の効果性】

- ・全員の目が見えず、言葉だけが頼りのコミュニケーション状況において、どのようなリーダーシップとメンバーシップを発揮すべきか、またどのような言葉をかけることがチーム力の向上や個々のモチベーションの向上につながるかを体感できる。
- ・自身が主体性を持って課題に取り組むことに対する有能感を体験する。指示をする人、指示を受ける人の双方のバランスが、納得性の高い仕事になることを実感する。

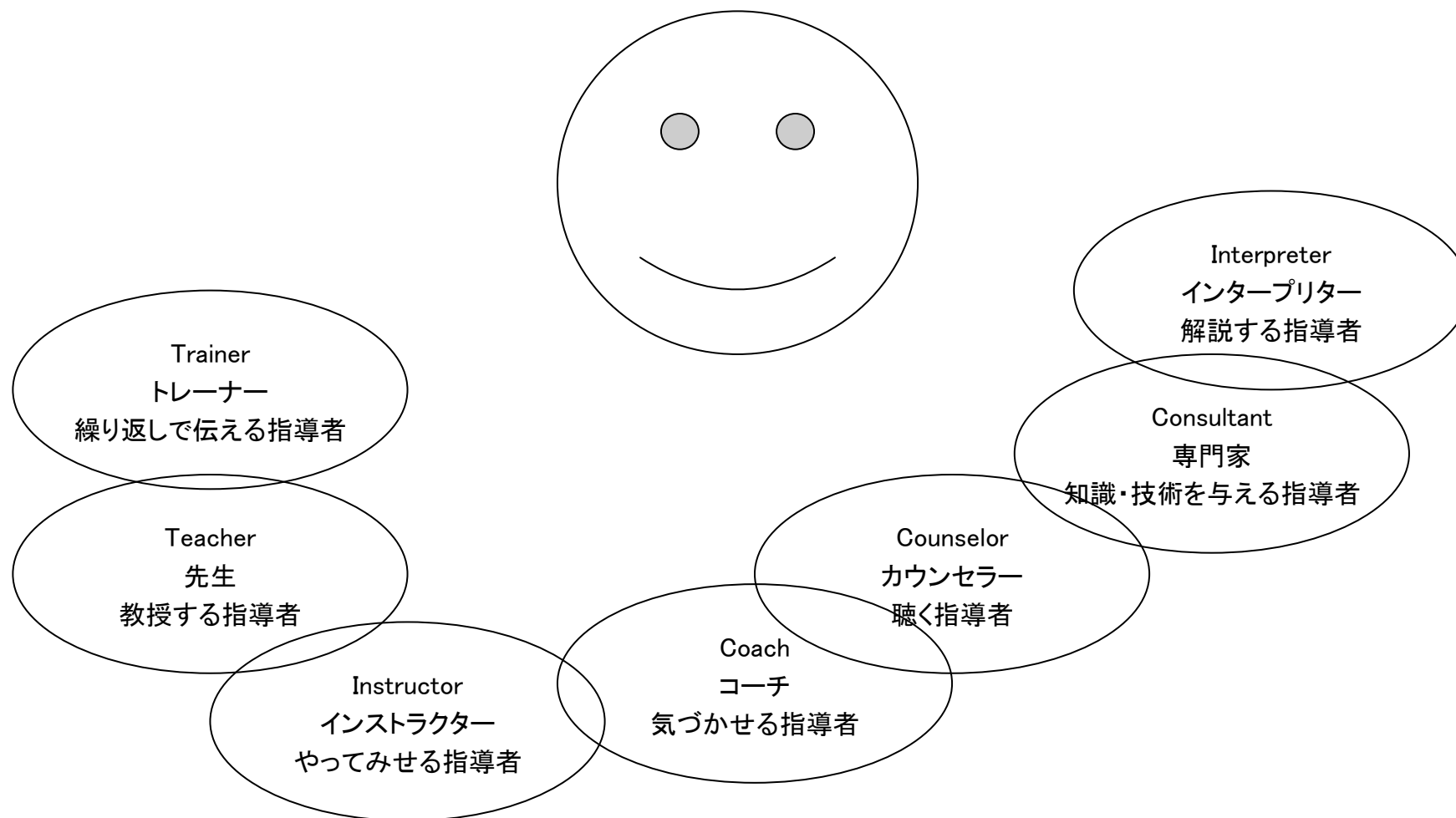
11



チームビルディング・ ファシリテーター養成講座の ご案内

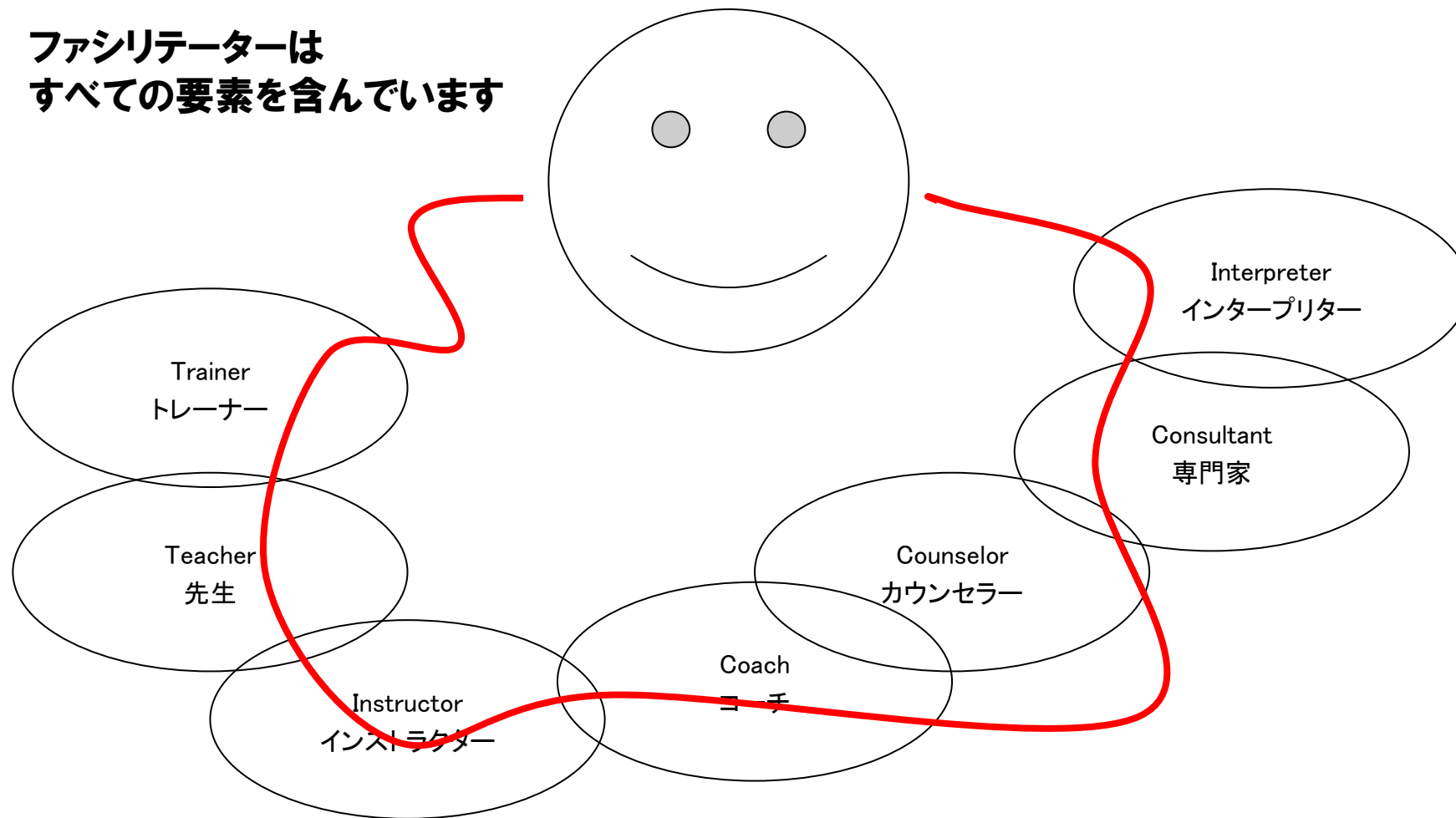
「チームビルディング・ファシリテーター養成講座」
とは、アドベンチャーラーニングの手法を活用して、
チームづくりを行なうファシリテーターを
養成する講座です。

ファシリテーターって何？



ファシリテーターって何？

ファシリテーターは
すべての要素を含んでいます



こんな方におすすめです

★研修講師

- 講座、ワークショップをもっと盛り上げたい。
受講者との関係作りに悩んでいる。
※もちろん、「チームビルディング研修」を実施できるようになります。

★経営者、経営幹部

- 会社に団結がない。コミュニケーション不全でギスギスしている。
離職率が高い。

★教育関係者

- クラスにまとまりがない。クラス運営がうまくいかない。
グループ学習を成功させたい。

★スポーツコーチ

- チームワークがなかなか発揮できない。
技術を伝えるだけでは強いチームにならない。

※そのほか、**企業の管理職、人材採用・研修に携わる方、ファシリテーター、コーチの方など**におすすめです。

チームビルディング・ファシリテーター養成講座

守(基礎)

アクティビティ実践

2日間

【得られる事】

- グループをチームに変える要素が腑に落ちる
- アクティビティをマニュアルに従って実行できる
- どのように役立てるかのヒントを得る

【主な内容】

- チームの発達段階とチームビルディングの関係
- アクティビティ体験と効果について
- アクティビティ実践とフィードバック

マニュアル通りにアクティビティが
実行できるレベル

破(応用)

振り返りと観察

2日間

【得られる事】

- 観察のポイント、振り返りのポイントを明確にする
- 何のために学ぶのかを突き詰める
- どのように役立てるかカタチにする

【主な内容】

- 観察と気づきの相関について
- アクティビティ体験と内省の関係
- 振り返りと質問の技術

観察と振り返りのポイントが
理解できているレベル

離(発展)

プログラム・デザイン

2日間

【得られる事】

- インストラクショナル・デザインの基本がわかる
- アクティビティをどのように組み立てるかがわかる
- 目的に沿ったプログラムデザインができるようになる

【主な内容】

- インストラクショナル・デザイン
- プログラムと効果測定について
- 体験学習法と学習サイクル

自分なりのプログラムデザインが
できるレベル

お知らせ

チームビルディング・ファシリテーション講座を受講後は、実践の場を提供します。

企業研修、ワークショップ、教員向け研修などの現場で、あなたがファシリテーターとして活躍します。

注)ただし、仕事の総量を保障するものではありません。

チームビルディング・ファシリテーター養成講座

守(基礎)

アクティビティ実践

2日間

【日程】

2009年12月12日(土),13日(日)
10:00~18:00

【場所】

LMJ東京研修センター(水道橋)

【定員】

24名

【費用】

52,500円(税込)

破(応用)

振り返りと観察

2日間

【日程】

2010年2月6日(土),7日(日)
10:00~18:00

【場所】

あうるすぽっと(東池袋)

【定員】

24名

【費用】

73,500円(税込)

離(発展)

プログラム・デザイン

2日間

【日程】

2010年3月6日(土),7日(日)
10:00~18:00

【場所】

あうるすぽっと(東池袋)

【定員】

24名

【費用】

126,000円(税込)

守・破・離3コースまとめてお申込みいただくと10%割引となります!(252,000円→226,800円)

お問い合わせ

【問い合わせ】

している株式会社

東京都文京区小石川2-1-1

丸統ビル9階

TEL 03-5840-7655 FAX 03-5840-7680

藤田 takahisa@shiteiru.co.jp

長尾 akira@shiteiru.co.jp